

# Career Up Stage

期末テストアップの対策をのせます。参考にして下さい。テストに臨む心構えを再確認し、体調を整え当日に力を発揮して下さい。

# 期末アップ大作戦

## 国語 読む 書く 写す

### 予習のしかた

今勉強している教科書の文章を読むことです。分からないことははっきりさせて、授業では質問します。また、文章を読むときは声を出して読みましょう。声を出すと理解が早くなることと、分からないことがどれか分かります。忘れてならないことはマーカーで線を引いて進めてください。

宿題をするのも予習になります。分からなくてもいいからやってみる事です。同じ分からないことでも、やって分からないこととやらなくて分からないこととは全く違うのです。5分でも10分でもやってみる事です。

### 復習のしかた

今日勉強したところを声を出して読みましょう。そして、ノートの整理したところを読みます。そして、今日のところを自分でまとめて書いておきます。

今日勉強したところの漢字を練習することもできます。

つまり、復習のしかたにはいろんなことがあります。読む、書く、写すなどがそれですが、全部できない人は一つでも毎日実行しましょう。

## 社会 ビデオかコピーか

### 予習のしかた

教科書を何度も読んで、内容を理解すること。最低2回は読みましょう。

読んだら、次にノートに書くことです。何を

書くのかというと、教科書の中にある重要語(太字)や文です。つまり、太い文字で書かれた語句をノートに写し、その語句について分かったことを書き込んでおきましょう。

### 復習のしかた

もう一冊のノートを準備します。そして、今日の授業のことを思い出しながら、思い出したことを全部書いていきます。つまり、今日の授業のビデオをとるのです。

思い出せないことは、授業のノートを見てもかまいません。これをビデオ学習といいます。この勉強はその日のうちにしなくてはなりません。なぜなら、人間の脳は、一度眠ってしまうと半分は忘れてしまうからです。

このビデオ学習をできない人やできないときは、その日の勉強した教科書の内容を写します。もちろん、表や図なども全部写本します。これをコピー学習といいます。

## 数学 分かるとできる

### 予習のしかた

教科書に一通り目を通して説明を読んだり、例題をしたりする程度でいいです。解答のある参考書よりも、間違った答えでも自分でやった方が翌日の授業では分かりやすくなります。

### 復習のしかた

今日習った教科書の問題を練習します。これはもう分かっているからいいや、などと言わないでやりましょう。数学は分かっているてもできないことがあります。できるかできないかは、やってみなくてはわかりません。

余裕のある人や実力を高めたい人は別に問題集を買っておいて、授業で学習したのと同じ問題をしましょう。応用力がつきます。また、なるべく多くの問題を解きましょう。たくさんやれば実力はつきます。数学は復習中心ということは、ここに秘密があるのです。

## 理科 教科書は灯台ノートに集中

自分のノートをきれいにしあげる人は理科が好きになります。先生が黒板に書くことはすべてノートに必ず書きましょう。

図や表や実験図などはなるべくたくさんノートに書くようにし、必ず手書きにすることで。マーカーを使うともっと楽しくなります。

理科が好きでない人に、理科が好きになる方法を教えましょう。その秘訣は、教科書以外の理科に関する本を多く読むことと自然現象に関心を持つことです。図書館にたくさんある本から何でも読んでください。読んだ本の内容を全て覚えなくてもよいです。

また、テレビの天気予報や台風の進路などに関心を持つことです。教科書には理科の大切なことだけがのっているのです。ですから、教科書は自然の中から大切なことを見つける灯台です。

## 英語

### 特効薬はクリカエース

最も大切なことは教科書を中心に徹底的に復習することです。基本になる文型をくり返し声に出して慣れることです。

英語が好き・得意になったりするための特効薬は「クリカエース」しかないのです。

英語教科書の英文を全部覚えたら、英語が得意な生徒になっています。

### 英単語暗記法

単語帳やカードで覚えるのがむずかしいという人のために、教科書の英文の中の単語を一つ一つ順序よく覚えるようにします。くり返し声を出して紙に書きながら覚えるとよいです。文の意味も一緒になって一石二鳥というものです。

## 作業と勉強

机には向かっているけれど、成績が伸びない人がいます。その一因として、それは「作業」をしているだけで「勉強」になっていないことがあります。

「作業」と「勉強」は違います。例えば、単語ノートを作ることは「作業」で、それを頭に入れることが「勉強」です。学校のワークをやっている、答えを見ながら機械的に埋めているだけでは「作業」をやっているだけです。問題を解きながら、自分のわかっていなかったところや理解があいまいなところを見つけ出し、クリアにすることが「勉強」です。

また「作業」には机と筆記用具が必要ですが、「勉強」はベッドやトイレなど、どこでもできます。むしろ暗記は、机以外の場所で、スキマ時間にでもやるほうがリラックスできて、よく頭に入ったりします。やっていることが「勉強」なのか「作業」なのか意識してみるといいかもしれません。

勉強にしても将来の仕事にしても、与えられたことをしているだけでは、それは作業にしか過ぎないと思います。勉強のやり方や任された仕事に対して自分の考えや思いを加味することが本来の勉強であり仕事であると思います。

自分の行動に自信を持って、積極的に自分の意思や良いこだわりを勉強方法に盛り込んで、学校での諸活動に誠実に取り組んでいきましょう。



弁当の日(8月23日)

## 中学生の勉強の基本

「勉強の仕方がわからない」という中学生は3つの悪いパターンに陥っています。

1. 闇雲に教科書を読んで満足している
2. 得意分野ばかり勉強している
3. 勉強するやる気が起きない

勉強の仕方がわからない原因がわかったら、勉強の基本を確認しましょう。

### 1. 授業・教科書の内容を復習する

教科書を侮って、問題集ばかり取り組む生徒がいます。しかし、勉強の基本は全て教科書に書かれています。

教科書の内容を理解せずに問題集に取り組むと、ちんぷんかんぷんになり勉強が嫌になってしまおうでしょう。

また、その教科書の内容をもとに学校の授業は進んでいますので、学校の授業を理解できると教科書の内容も理解できることとなります。

つまり、まずは授業や教科書の内容を復習し、さらに定着させるために問題集を解いていくことが大切なのです。

### 2. 勉強を習慣化する

さて、学校の授業で基本が抑えられるなら「学校で授業を受けているから家では勉強しなくていいか…」と考えてしまう生徒もいるのではないのでしょうか？

しかし、多くの生徒は次の日には授業の内容のほとんどを忘れてしまっているでしょう。ここで大事なのが、家でも勉強をすることです。

授業で学習した内容をその日のうちに見直すことで、定着率は大きく変わってきます。そうは言っても中学生になると部活が始まり、宿題も多くなってきて時間がないと困っている方も多いでしょう。

そこで、自分で1日の計画をたて最低限勉強できる時間を考えてみてください。

まずは1時間からでも大丈夫です。少しずつ、毎日勉強をする習慣を作ることによって大きく変わるでしょう。

## 主要5教科の勉強のコツ

それでは具体的に、5教科それぞれの勉強のポイントを解説いたします。

### 《国語》

国語は漢字や文法などを覚えることも重要ですが、最も力を入れなければならないのが読解力です。

まず漢字や文法の覚え方についてからお話すると、インプットよりもアウトプットを重視して勉強してください。

簡単に説明すると、インプットは読むだけで、アウトプットは読んで覚えた内容を書いたり声に出して発することです。

インプットするだけでは覚えることは難しいでしょう。実際にノートに書いたり言葉に出して読んでみる方が覚えやすくなります。

さて、読解力についてですが、読解力は全教科に通ずるものがあります。読解力がなければ、どんな問題でも読み取ることができず、答えを導くことができなくなってしまうのです。

では、どのようにすればよいのでしょうか。それは、たくさん本を読むことで解決できます。たくさん本を読み、頭の中で簡単に要約することで読解力は身につけていきます。

しかし、本を読むことに抵抗がある方もいるでしょう。そこでいきなり難しい本を読むのではなく、簡単な本や自分が興味のある本を選んで読んでみてください。本も習慣化することで抵抗がなくなってくるでしょう。

### 《英語》

英語はまず暗記から始めていきます。最低限の単語や文法が定着していなければ何を書いているのか全くわかりません。

そこで、まずは教科書に載っている単語や文法を暗記しましょう。覚え方は国

語と同じで教科書を見るだけでなく、書いたり発音して覚えることが大切です。

特に英語は発音も重要となりますので、実際に口に出して読みましょう。文法や熟語も、長いため難しく感じてしまいますが、同じように教科書に載っている例文を定着させることで理解できるようになります。

単語や文法が定着すれば、長文になっても解けるようになります。

もし、わからない単語が出て、知っている単語から読み解くことができるでしょう。

### 《数学》

数学は積み上げの教科です。

小学校の算数からずっと積み上げていなければ解くことは難しいでしょう。もし、答えを見てもわからない問題が出たとしたら、その単元だけでなくその前の単元も理解できていないことが多いです。

例えば、二次関数が全くわからなければ、その前の一次関数が理解できていないということになります。

つまり、もしわからない問題が出てきたときにはその前の単元に戻ることで解決できるでしょう。なかには数学が全く苦手、計算が遅くて困っているという生徒もいます。

そんな生徒は、小学2年生の算数からやり直すことがおすすめです。小学2年生は九九や足し算引き算の筆算など数学の基礎も基礎が詰まっています。

これらをすばやく解けるようになれば数学は伸びていきます。

また、数学は積み上げの教科と言ったように、わからない問題をそのままにしていれば次の単元は全くわからなくなってしまうのです。

そうなる前に、わからない問題はそのままにせず、前の単元に戻ったり何度も問題を解いて解決しましょう。

### 《理科》

理科も暗記が重要となりますが、その上で問題を解いていくことが大切です。

暗記の仕方は同じように書いたり口に出して読んだりして覚えましょう。そして、その上で学校の問題集などを使ってたくさん問題を解いていきましょう。

理科は学校の問題集を理解することでテストの点数は伸びます。公式などを覚えるだけでは問題を解けません。

公式を実際に問題に当てはめることでその内容は定着するでしょう。

### 《社会》

社会は暗記が大部分です。

つまり、いかに効率よく暗記できるかで勝負が決まります。

暗記の仕方はやはり書いたり口に出して読んだりすることで効率的に覚えることができます。

また、歴史は重要語句を覚えるだけでなく、流れも覚えなければなりません。

例えば、平安時代の文化や価値観があったからこそ鎌倉時代の文化や価値観が生まれるのです。

ただ暗記するよりも、その時代背景を理解してから、次の時代へ進んでいきましょう。

※参照文献：勉強の仕方がわからない中学生に伝えたい基本の勉強法！主要5教科のコツも解説